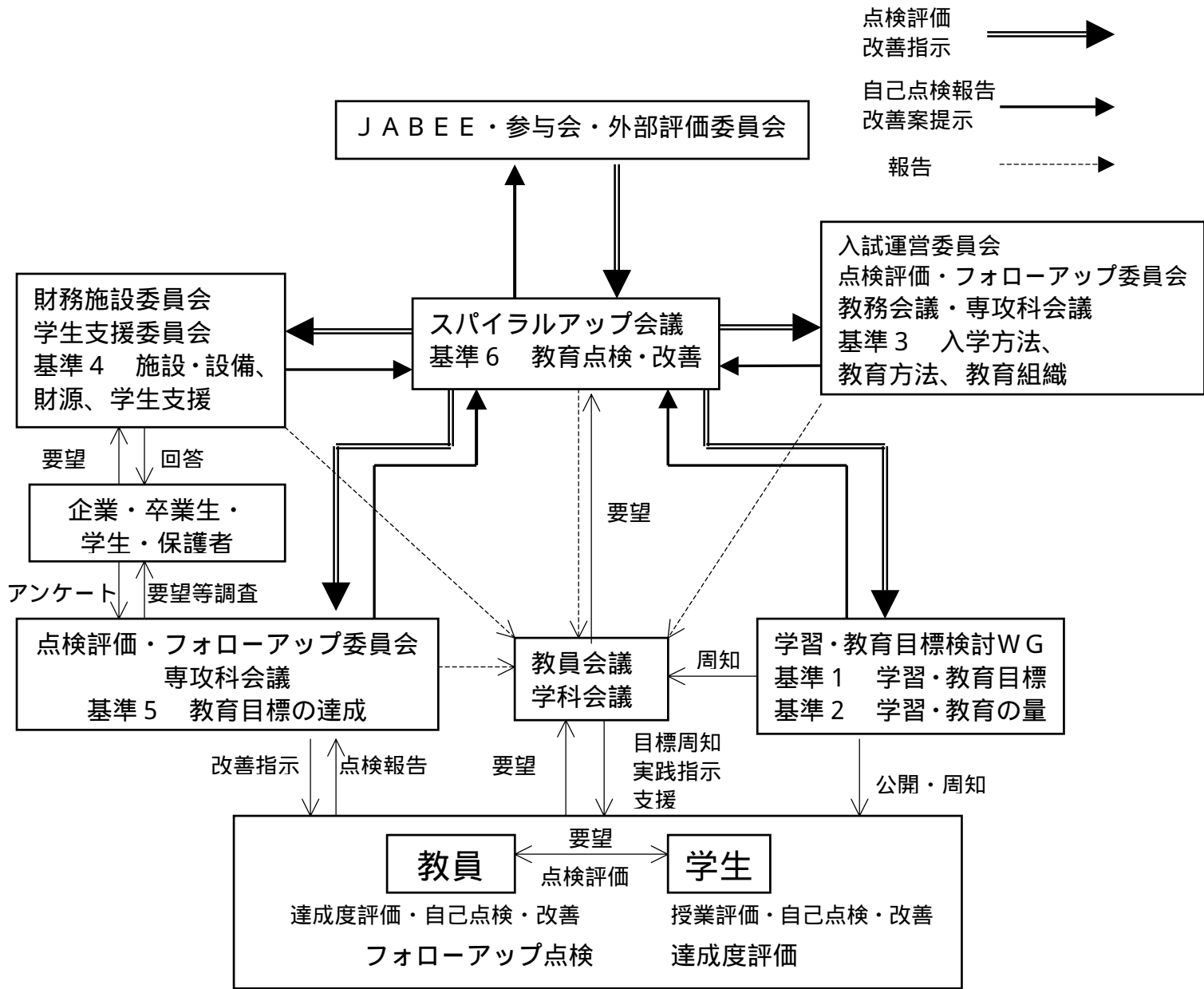


スパイラルアップ会議による教育点検システムの概略（JABEE 対応の場合）



スパイラルアップ会議による教育点検システムの概略

- 1) 年度末に各会議・委員会・WGはJABEEのプログラム点検書(基準1から5)の形式で自己点検を行い、改善案を盛り込んだ活動報告書をスパイラルアップ会議へ提出する。
- 2) スパイラルアップ会議自体も自己点検する。(基準6.1)
- 3) スパイラルアップ会議は活動報告書を点検評価し、改善状況を確認すると同時に問題点等を明らかにし、あらたな改善を年度初めに指示する。(基準6.2)
- 4) 結果は改善状況点検書に纏め、点検・評価・改善によりスパイラルアップしている状況を参与会に毎年報告し、教育点検システムの機能を点検する。(基準6.2)
- 5) 学生および教員はフォローアップ点検を実施し、恒常的・継続的に教育を点検・改善しその状況を点検評価・フォローアップ委員会に報告する。
- 6) 専攻科入学時に、学生はプログラムの学習・教育目標の達成度を自己点検し、専攻科会議に報告する。専攻科会議は専攻科修了判定時に達成度評価をする。
- 7) 意見箱を通じて学生および教職員の要望は収集する。保護者の意見は地区懇談会、保護者懇談会、授業参観等を通じて収集する。教員会議で公開し、回答が必要なもの、対応が必要なものには対処する。企業および卒業生の意見は定期的アンケートを実施し、要望を取り入れる。
- 8) 教育点検システムの改善状況は、自己点検書、プログラム点検書等を提示し、数年ごとにJABEEあるいは外部評価委員会による外部評価を受ける。
- 7) 本システムはJABEEプログラムの教育点検システムに対応しているが、学位授与機構による認証評価、および機構本部による中期目標達成度点検にも同様の手法で対応する。